

公表

事業所における自己評価結果

事業所名		おおいちフォア・アス2単位目				公表日	令和 8年 3月 2日
		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点	
環境・ 体制 整備	1	利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	6	0	・十分なスペースがあるので、レイアウトを変更することでより過ごしやすくしていきたい。		
	2	利用定員やこどもの状態等に対して、 職員の配置数は適切であるか。	3	3	・充分すぎるくらいです。	・力の強いおじさんの場合、男性職員限定となった時、人手が足りない。男性職員の手が必要。 ・曜日によって利用者人数に対して職員数が少ない。 ・パート職員が少なく、安定して出勤できる職員数に不安がある。	
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	4	2	・不統一なものが多いこともあり、乱雑に見えるので、統一性をもって整理し直している。	・食事、作業及び学習、余暇の場所を明確にすることで切り替えにつなげていく。	
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。	3	3		・床をカーペットや畳ではなく、フローリングにすると掃除もしやすく良いと思う。 ・個人的には清潔とは思えないです。清掃が甘いのでホコリなど目につく汚れが多い。	
	5	必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	6	0		・曜日によっては個別の部屋が必要なおじさんもいるので、部屋が足りない。増やしてほしい。	
業務 改善	6	業務改善を進めるためのPDCA サイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画しているか。	4	2		・目標設定をしても肝心な振り返りができていない。	
	7	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	5	1	・アンケート結果をもとに職員会議で話し合いを行い、業務改善に繋げている。		
	8	職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	6	0	・一人ひとりと話す場、全体と話す場を設けている。		
	9	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。	3	2			
	10	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	5	1	・オンライン研修の機会を利用している。	・事業所内での研修は実施しているが、外部の研修は職員体制の問題もあり、参加が難しい。	
適切 な 支 援	11	適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	5	1	・令和7年1月23日から公表		
	12	個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか。	4	1		・アセスメントはもっと丁寧に細かく行う必要がある。	
	13	放課後等デイサービス計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	5	1	・課題や気になる点などを聞き取り、反映するようにしている。	・時間に余裕がないとできないこともある。	
	14	放課後等デイサービス計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	4	2	・情報共有をこまめに行い、支援を次へとつなげるようにしている。	・計画内容の共有、周知ができていないので、ツールを作成し、把握しやすい状況を整える。	
	15	こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	4	1			
	16	放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインの「放課後等デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	5	0		・設定はできているが、具体的な支援を行うには職員間のごまめな情報共有と連携が必要になる。	
	17	活動プログラムの立案をチームで行っているか。	5	0			

援 の 提 供	18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	5	0		・常勤だけでなく、パート、アルバイトからも案を出してもらっている。
	19	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成し、支援が行われているか。	5	0	・情緒面などに配慮し、その時々で必要な対応を検討している。	
	20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	6	0	・当日の利用児童についての配慮すべき点や前日の子どもの様子や保護者からの情報等を共有している。	
	21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	3	2	・終礼は行っていないが、適宜情報共有を行っている。	
	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	4	1		
	23	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	4	1	・半年に1回、保護者との面談等を実施し、職員全体で話し合った上で見直しを行っている。	・見直しはしているが、適切なものになっているとは言えない部分もある。
	24	放課後等デイサービスガイドラインの「4つの基本活動」を複数組み合わせ合わせて支援を行っているか。	4	1		・創作活動の機会があまりなかったため、季節の工作を少しずつ取り入れている。
	25	こどもが自己選択できるような支援の工夫がされている等、自己決定をする力を育てるための支援を行っているか。	5	1		・職員配置によっては叶わないことがある。
関 係 機 関 や 保 護 者 と の 連 携	26	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	5	0	・会議前には職員から聞き取りを行うことで、様々な視点を内容に取り入れている。	
	27	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	3	1		
	28	学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、こどもの下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っているか。	4	0	・送迎時や会議を通してやりとりができています。	・送迎時は時間が限られる。
	29	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか。	0	3	・中高生対象のため、就学前の事業所とのやりとりはないが、関係機関との情報共有は行っている。	・幼少期の情報も必要不可欠なので、得られるようにしたい。
	30	学校を卒業し、放課後等デイサービスから障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか。	2	1	・要請があった時のみ、行っている。	
	31	地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要等に応じてスーパーバイズや助言や研修を受ける機会を設けているか。	0	3	・なかなか機会がないので、常に客観視しながら支援を検討している。	・第三者の見解やアドバイスは必要だと思う。
	32	放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他のこどもと活動する機会があるか。	0	3		
	33	（自立支援）協議会等へ積極的に参加しているか。	0	3		・子どもの支援時間と重なることもあり、参加できていない。
	34	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	3	0	・引継ぎや連絡帳を通して丁寧なやりとりを行っている。	
	35	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム（ペアレント・トレーニング等）や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	0	3		
	36	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	2	1	・利用開始時や問い合わせがあった際にはわかりやすく説明を行うように努めている。	
	37	放課後等デイサービス提供を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	2	1		
	38	「放課後等デイサービス計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から放課後等デイサービス計画の同意を得ているか。	3	0		

保護者への説明等	39	家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	4	0		・少しでもお力になれるように日頃からコミュニケーションを大切にしたい。
	40	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。	0	3		
	41	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	4	0	・苦情があった場合はすぐに対応し、安心して利用していただけるようにしている。	・事案が発生しないように職員教育が必要。
	42	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか。	3	0		
	43	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	6	0	・正職員だけでなく、パートアルバイト職員にも入社時に個人情報についての確認を行うようにしている。	
	44	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	5	0	・一人ひとりの特性を理解し、適切な配慮を心がけている。	
	45	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。	0	3		・地域の方が参加できる行事を行っていない。
非常時等の対応	46	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	5	1	・定期的に避難訓練を実施している。	・マニュアルは策定されているが、周知はされているとは言い難い。
	47	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	6	0		・室内で過ごすだけでなく、外出する機会も多いため、日頃からいろいろな場面を想定しておく必要があると感じている。
	48	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等の子どもの状況を確認しているか。	6	0	・利用開始時やその都度、保護者から情報提供してもらい、職員間で情報共有を行っている。	・服薬の変更も多いため、定期的に確認する必要がある。
	49	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	5	1		・常に意識できるように情報を可視化する。
	50	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	3	2	・事故防止研修やヒヤリハットの振り返りなどを定期的に行っている。	
	51	子どもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	2	2		・家族への周知は不十分であると感じる。
	52	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	5	0		・事案が発生しないように職員教育が必要。
	53	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	5	0	・事業所内で研修やチェックリストを実施している。	・外部の研修には参加できていない。
54	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか。	4	0	・個別支援計画に記載している。 ・身体拘束についての研修を実施している。日頃から記録をとったり、子どもたちの様子を共有することで拘束をしない支援ができるようにしている。		